

社会人向け新大学院  
都市経営研究科開設  
入試説明会・開設記  
念シンポジウム案内

**GSUM**  
Graduate School of  
Urban Management

大阪市立大学大学院  
**都市経営  
研究科** 設置届出中

梅田=大阪駅前第2ビル6F 大阪市立大学文化交流センター、杉本=大阪市立大学学術情報センター1F

**6/30** 金

梅田 18:30 ~ 21:00

都市政策・地域経済コースシンポジウム「公共施設のリ  
ニューアル・劇場編—ロームシアター京都の挑戦」

宮崎刀史紀氏（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団ロームシアター京都管理課長）

**7/1** 土

梅田 15:30 ~ 17:30

## 第1回入試説明会

**7/2** 日

杉本 15:00 ~ 17:00

医療・福祉イノベーション経営コース  
入試説明会

**7/5** 水

梅田 18:30 ~ 21:00

都市経営研究科開設記念特別シンポジウム（第1回）  
「AI（人工知能）の衝撃—ビジネス、社会、雇用の革命  
をどうする？」 村上憲郎（都市経営研究科予定教員、元グーグル米国本社副社長  
兼日本法人代表）、服部桂（都市経営研究科予定教員、元米MITメディアラボ客員研究員）

**7/7** 金

梅田 18:30 ~ 21:00

都市行政コースシンポジウム「幸福度指標を使った地域  
マネジメント」  
熊谷和久氏（滝沢市企画政策課長）

**7/11** 火

梅田 18:30 ~ 21:00

都市経営研究科開設記念特別シンポジウム（第2回）  
「都市経営の挑戦—行政がお金をかけず地域活性化する  
パークマネジメント」【コーディネータ】佐藤道彦（都市経営研究科予定教員、  
元大阪市計画調整局長）、【パネリスト】竹野瑞光氏（大阪市建設局公園緑化部調整課長）、  
久村宗憲氏（大阪市経済戦略局観光部集客拠点担当課長）ほか

**7/12** 水

梅田 18:30 ~ 21:00

## 第2回入試説明会

**7/18** 火

梅田 18:30 ~ 21:00

## 第3回入試説明会

**7/29** 土

梅田 15:00 ~ 17:30

都市ビジネスコースシンポジウム「シェアリングエコノ  
ミービジネス—中古物（空きスペース・空き時間）×  
ICTのビジネス」 金野和弘氏（鳥根県立大学准教授）、林恒宏氏（大阪成蹊  
大学講師）、小倉哲也氏（太成学院大学講師）ほか

お問い合わせ 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学学務企画課（都市経営研究科  
開設準備担当）06-6605-3508

<http://www.gsum.osaka-cu.ac.jp/>

**7/5** 水  
梅田 18:30 ~ 21:00

## 都市経営研究科開設記念特別シンポジウム (第1回)「AI(人工知能)の衝撃ービジネス、社会、雇用の革命をどうする?」



**服部桂** (都市経営研究科予定教員)  
1951年、東京都出身。早稲田大学  
理工学部で修士取得後、1978年に  
朝日新聞に入社。80年代の通信自  
由化の際、米通信系ベンチャー企  
業に外向。87年から2年間、米  
MITメディアラボ客員研究員。科  
学部を経て、朝日パソコンの副編  
集長。94年に新聞紙面で初のイン  
ターネット連載。その後、企画報  
道部でデジタル面、科学部でbeを  
担当。ジャーナリスト学校シニア  
研究員を経て16年に定年退職。  
著書に「人工現実の世界」「人工  
生命の世界」「メディアの予言者」  
など。

【趣旨】いまや第4次産業革命の時代といわれ、AIとIoTがあらゆる製品をネットにつなぎ、自動化をしようとしています。AI(人工知能)の技術は、これまでのコンピュータのような計算機型の回路ではなく、人間の脳を模した「ニューラルネット」型のハードウェアと、教え込みシステムから自分で学習するシステムへの転換により、検索企業であったグーグルが、ネット空間での膨大なデータ解析のため構築したAIが2012年に自発的な推論をするに至りました。その結果、巨大な技術的革新をとげ、人間の能力を超えつつあるのです。いまや人間の仕事の半分がAIになるとも予測されていると同時に、一方、新しいビジネスのチャンスも急速にうまれております。今回は、都市経営研究科特別シンポジウム(第1回)として、専門家のみなさまにお話しをうかがい、ビジネス、社会、雇用の革命を想定し、楽しくディスカッションしてまいりたいと存じます。



**村上憲郎** (都市経営研究科予定教員)  
京都大学工学部卒。DEC人工知能技  
術センターマネジャー、インフォミ  
ックス米国本社副社長、ノーザンテ  
レコム/ドーセントなどの日本法人  
代表取締役社長を経て、グーグル米  
国本社副社長兼日本法人代表取締  
役社長をつとめた。他に、慶応大学  
特別招聘教授、会津大学参与、東京  
工業大学学長アドバイザー・ボード  
委員など。



【総合司会】近勝彦  
(都市経営研究科予  
定教員) 広島大学  
大学院生物圏科学  
研究科博士課程後  
期環境計画学単位取得退学。その後、小樽商科大学、島根  
県立大学などをへて現職。その間、東京大学社会情報研究  
所・研究員、北東アジア地域研究センター主任研究員、  
科学技術振興機構・非常勤研究員など。

**7/11** 火  
梅田 18:30 ~ 21:00

## 都市経営研究科開設記念特別シンポジウム (第2回)「都市経営の挑戦ー行政がお金を かけず地域活性化するパークマネジメント」



**竹野瑞光氏** (大阪市建設局公園緑地  
部調整課長。1967年大阪生まれ。  
1991年京都大学農学部卒業後、大  
阪市役所に入庁。造園技術職員と  
して公園、緑化行政の企画、計画、  
設計、施工監督、現場管理などの各  
部署を経験。14年より経済戦略  
局観光部で大阪城パークマネ  
ジメント事業などの大阪城公  
園観光拠点化事業を担当。

【趣旨】本来公園は都市に潤いをもたらす憩いの場のはず  
ですが、あまり利用されない例もあります。しかし本来都  
市部では集積の利益があり、都市部の公園はうまくマネジ  
メントすれば集客の機会はいくらでもあるはず。事実、  
他都市では(新宿、代々木、渋谷など)都心の横の公園が  
市民の憩いの中心となり活性化しています。民間に運営を  
まかせ、集積の利益を利用して集客に成功すれば採算は  
十分確保できるはず。このような手法はパークマネジメ  
ントと呼ばれ、公民連携(PPP)、PFI、指定管理、コンセ  
ッションなどの手法があります。今、大阪市では、先進的  
なパークマネジメントの試みを次々におこなっており、  
これにより「てんしば」や「大阪城公園」が活性化しまちが  
大きく変化しようとしています。今回は、都市経営研究科  
特別シンポジウム(第2回)として、政策担当者と事業者  
のみなさまにお話しをうかがい、楽しくディスカッション  
してまいりたいと存じます。



**久村宗憲氏** (大阪市経済戦略局観光  
部集客拠点担当課長) 1959年大阪  
生まれ。香川大学農学部卒。1984  
年同大学院修士課程修了後、大阪  
市市役所に入庁。公募による飲食施設  
の誘致を含む中之島公園の再整備等  
担当後、2017年より現職において  
民間事業者による大阪城公園、天王  
寺公園の賑わい、魅力創出による  
集客拠点化に取り組んでいる。

【コーディネータ】佐藤道彦  
(都市経営研究科予定教員、  
元大阪市計画調整局長) 京大  
大学工学卒、大阪府立大学大  
学院経済学研究科経営学専攻  
修了。大阪市の都市計画部局  
において、都心部・ベイエリア  
での都市再生政策にたずさ  
わる。



【総合司会】永田潤子(都市経営研  
究科予定教員、元市政改革委員)  
海上保安大学校卒、埼玉大学政策科  
学研究科(修士・政策分析)、大阪  
大学大学院経済学研究科博士後期課  
程単位取得満期退学。著書に『パ  
ブリックセクターの経済・経営学』  
『図書館経営論』等がある。